

科 目	英 語
出題意図 全体	高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。
出題意図 1	1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。
出題意図 2	定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出して問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。
出題意図 3	英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。
出題意図 4	話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。
出題意図 5	空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。

科 目	英 語
出題意図 6	さまざまなジャンルの短めの文章について，特定の情報を読み取る，読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について，限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。

科 目	世界史
出題意図 全体	高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものです。
出題意図 1	古代文明の中からシュメール人、アムル人、ヘブライ人（ユダヤ人）を選び、彼らの文化について確認する問題です。その後の世界史の基礎となる文化的遺産について扱うと同時に、古代オリエント文明における宗教に関する基礎知識も問うています。
出題意図 2	ティムール帝国の拡大を媒介として、西アジアのオスマン帝国と南アジアのムガル帝国の興隆時期を範囲としています。記述式・選択式を織り交ぜて、オスマン・ムガル両帝国に代表されるアジアの制度や諸国の関係性について、基礎的かつ総合的な知識を問うています。
出題意図 3	近代ヨーロッパ史を理解するのに不可欠の政治的事件であるフランス革命を主題とした問題です。 絶対王政の混乱からナポレオンの皇帝就任までを範囲とし、フランス革命理解に必要な基礎知識を問うています。
出題意図 4	第一次大戦後から北伐を経て国民党が共産党を弾圧するまでの中国政治史を範囲としました。国民党と共産党、各地に割拠する軍閥が並び立つ一方、日本の帝国主義的進出への反発によるナショナリズムの高揚が高まるという、この間の混沌とした中国政治の大きな流れを把握しているかどうかを問う問題です。

科 目	地 理
出題意図 1	地形図の読解と、地域の地形や環境を活かした観光に関する理解を問う問題です。地図記号や等高線の読み解き、縮尺の計算は基礎的な技能ですので、しっかり学習しましょう。
出題意図 2	自然災害に関する基本的な問題です。地震をはじめとする自然災害に対する備えは非常に重要です。特に日本は地震国であり、地震に対する正しい理解をしておくべきでしょう。地震の発生メカニズムや防災の取り組みなどについて日頃から関心を持ってほしいです。
出題意図 3	出題者の退職・転出等の理由により公表不可
出題意図 4	世界の地域経済統合に関する理解を問う問題です。教科書や用語集を読み込むだけでなく、日本と関係の深い農作物の貿易額など、基礎的な統計データは最低限把握しておきましょう。

科 目	政治・経済
出題意図 1	市場メカニズムに関する出題です。設問のほとんどは、高等学校の教科書に記載されている基本的な内容を問うもので、この分野の正確な知識が修得できているかを問う問題を多く出題しています。教科書や資料集の解説が充実している分野ですので、きちんと取り組んでほしいところです。
出題意図 2	日本外交を構成する最も重要な論点の一つである領土問題を取り上げました。基本的には「政治経済」の教科書レベルの基本的な内容を問うものですが、近年のオーシャントランスフォーメーションをめぐる動向とも関連づけ、総合的な海洋安全保障や持続可能な海洋の構築という視点から、受験生の知識と時事問題への感度を問う構成としました。
出題意図 3	株式会社の株主の権利と行動、および財務諸表の構造を問う問題です。株式とは何か、所有する株式を売却するとはどういうことか。インカム・ゲインとキャピタル・ゲインを区別して理解しているか。企業の具体的な行動について、普段から新聞等に目を通してしているか。主要な財務諸表である損益計算書と貸借対照表について理解しているか。

科 目	物 理
出題意図 1	この問題は、斜面へ物体を投射した場合の反復衝突を扱い、衝突前後の速度ベクトルの変化と放物運動を理解しているのかを受験生に問うものである。
出題意図 2	この問題は、抵抗とコンデンサーを含む直流回路における基本的な電気法則や概念の理解度を確認している。具体的には、オームの法則、電力計算、エネルギー消費、電位、電気容量などの基本的な電気回路や、スイッチ操作による回路の変化、時間経過に伴うコンデンサーの動作に関する知識を確認している。

科 目	国 語
出題意図 — 全体	問題文は、マジョリティの規範がマイノリティに押しつけられることの問題を論じています。平易な言葉づかいで説明されていますが、読解にあたっては「普通」とされていることに対する反省が求められます。先入観にとらわれず、丁寧に議論を追う必要があります。
出題意図 — 問一	同音意義の漢字をしっかりと区別できるかを問う問題です。
出題意図 — 問二	「象牙の塔」という比喻の意味を文脈から読み取れているかを問う問題です。
出題意図 — 問三	「介入や援助」を指すのにふさわしい語を選択する問題です。前後の文から、「介入や援助」がどのようなものとして説明されているのか、読み取る力が求められます。
出題意図 — 問四	「オネエ」に好感を持つこと自体はよいことであるように思われますが、実は問題が潜んでいると筆者は主張しています。その理由を理解できているかを問う問題です。接続詞などを手掛かりに議論の展開を追うことができているかどうかのポイントになります。
出題意図 — 問五	「トロフィーワイフ」という語の理解を問う問題です。マイノリティを「アクセサリー」扱いするのと、男性が妻を「トロフィーワイフ」扱いするのが「同型の「モノ」扱い」であるという説明をしっかりと読み取る必要があります。
出題意図 — 問六	前後の段落の関係を正しく読み取り、適切な接続詞を選択できるかを問う問題です。

出題意図 — 問七	傍線部までの議論をしっかり追うことができているかを問うています。答えはこのテキストの最重要キーワードであり、何度もくり返されています。
出題意図 — 問八	「この論法」とはどのような論法なのか、また、どうして「差別の言い訳」にしかないのか、という2点の理解を問うています。一方的に「知っている」と判断することの問題を読み取ることが重要です。
出題意図 — 問九	論理展開をしっかり把握できるかを問う問題です。挿入すべき文に「言い換えれば」とありますので、何をどのように言い換えているのか考える必要があります。
出題意図 — 問十	テキスト全体を注意深く読むことができているかを問うています。言葉遣いが平易なテキストであるため、わかったような気になりやすいかもしれませんが、思い込みにとらわれると読解を誤るでしょう。
出題意図 二	出題者の退出・転出等の理由により公表不可